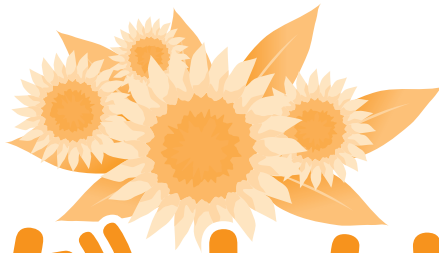


# 亞くろいし 市議会だより



第17号  
平成29年6月1日発行

## 足元再発見！ 黒石オリジナルデザイン マンホールのふた



### 市内約3,000ヶ所あるマンホールのふた

中には、市章入りこけし・りんご・稲穂絵柄のふたがあります。  
カラフルなものもありますが、知ってますか？

### 目次

- 定例会の概要 …… 2～3
- 定例会一般質問など …… 4～6
- 議員活動報告など …… 7
- 議長交際費支出状況など …… 8



## 平成29年第1回定例会の概要

平成29年第1回定例会は3月2日から15日までの14日間にわたって開かれ、市長提出の7報告・45議案、議員提出の1議案を慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・報告・同意・可決しました。

また、3月2日に全議員で構成される予算特別委員会が設置され、委員長に工藤和行委員、副委員長に今大介委員を選任し、平成29年度一般会計、各特別会計、各事業会計、各財産区会計予算の審査を行いました。

各議案の議決結果と各会派の賛否一覧は下記をご覧ください。

### 平成29年度黒石市一般会計予算に対する討論

#### 反対討論

アベノミクスの破綻が財政面でも表面化しており、この流れが黒石市の財政にも大きく影響を与えています。1つ目は市税が前年度より減収の予算であり、市民の収入も減っているということを反映しているため。2つ目は、しっかりした事業計画を構築しなければ、地方創生事業が市の厳しい財政に拍車をかけることになりかねない状況にあるため。3つ目は、行政側が実態を議会に報告し、あずましい黒石にするために、行政と議会がお互い考えていくという姿勢が低いということです。また、国の予算を色濃く反映した考え方の予算になっているため、平成29年度黒石市一般会計予算に反対するものであります。

#### 賛成討論

157億8,500万円、前年比0.9%増。規模は小さいながらも、依然として厳しい財政環境が続く中において、財政調整基金を取り崩すことなく予算を編成しました。予算の配分を工夫し、若い人が安心して働ける環境の整備や子供を産み育てやすい環境づくり、また、子供たちの育成を推し進める内容となっており、さらには市民との協働による黒石力を生かした事業など、新規事業も盛り込まれております。黒石市総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施と市の活性化が期待できる予算であると考え、平成29年度黒石市一般会計予算に賛成するものであります。

### 賛成多数により原案可決

#### 第1回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧 (○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
報告第1号	道路施設の管理瑕疵による事故に係る和解について	○	○	○	○	○	報 告
報告第2号	平成28年度黒石市一般会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	承 認
報告第3号	道路施設の管理瑕疵による事故に係る和解について	○	○	○	○	○	報 告
報告第4号 ↳ 報告第7号	権利の放棄について	○	○	○	○	○	報 告
議案第1号	黒石市地方活力向上地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第2号	誇れるふるさと黒石応援基金条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第3号	黒石市スポーツ振興基金条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決



番 号	件 名	会 派 名					議決結果
		自民・公明 クラブ	黒石市民 クラブ	日本 共産党	高佑会	新政会	
議案第4号	黒石市高齢者の見守り活動の推進に関する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第5号	黒石市立黒石幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第6号	黒石市特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第7号	黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第8号	黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第9号	地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第10号	黒石市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第11号	黒石市税条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第12号	災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第13号	黒石市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第14号	黒石市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第15号	黒石市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第16号	黒石市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第17号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第18号	黒石市スポーツ交流センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第19号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更について	○	○	○	○	○	原案可決
議案第20号 ↳ 議案第23号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	同 意
議案第24号	平成28年度黒石市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	平成28年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	平成28年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	平成28年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	平成29年度黒石市一般会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第29号	平成29年度黒石市国民健康保険特別会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第30号	平成29年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第31号	平成29年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	平成29年度黒石市介護保険特別会計予算	○	○	●	○	○	原案可決 (起立多数)
議案第33号 ↳ 議案第45号	平成29年度黒石市簡易水道特別会計予算、黒石市温泉供給事業特別会計予算、黒石市農業集落排水事業特別会計予算、黒石市土地取得特別会計予算、黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算、黒石市水道事業会計予算、黒石市下水道事業会計予算、黒石市中川財産区、上十川財産区、追子野木財産区、温湯財産区、袋財産区、南中野財産区会計予算	○	○	○	○	○	原案可決
議員提出 議案第1号	黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	原案可決



# 第1回定例会一般質問

一般質問は、3月9・10日の2日間行われ、9人の議員が市の諸問題についての質問をしました。



新政会  
三上 廣大 議員  
(二問一答方式)

問 民生委員の担い手確保について、現状は。

答 現時点では、主任児童委員を含めた民生委員の定数92人に対して100割確保しています。しかし、民生委員の高齢化が進む中で、県においても年齢の若返りに努めることとされていますが、民生委員の要件として広く社会の実情に通じ、地域の実情を充分把握していることが必要であるほか、時間的余裕がなければならぬことから、世代交代がうまく図られていないのが現状です。

問 高齢者見守り宅配便事業について、地区委託への状況は。

答 現行の宅配業者から各地区へ委託するにあたり、現在、市内10地区中9地区から承諾をいただいております。事業実施へ向け協議を重ねています。運営に関しては、町内会、地区社会福祉協議会、民生委員、ほのぼの協力員、地区自主防災組織を活用するなど各地区



自民・公明クラブ  
村上 啓二 議員  
(二括方式)

の特性を活かした方法で検討しています。市と地区が協働で地域社会を築き、黒石力を結集して高齢者の見守りを行っていきます。

問 西十和田トンネル(仮称)について、青樺トンネル完成の次は西十和田トンネル建設に着工できるかと思っているが、市長の見解は。

答 西十和田トンネル建設については、うまくいけば青樺トンネルと並行して事業化できると思っています。

問 農業振興策について、労働者の確保対策は。また、農業産出額は。

答 都市部の若者等を対象に、農作業や田舎暮らしを通じて、労働者の確保を計画しています。また、外国人技能実習制度により、労働力を補う方もいますが、積雪地帯では周年の実習が困難であるため、1実施者1作業の体系にとらわれず実習ができるよう制度の見直しを要望しています。国は、国家特別区域法で外国人



自民・公明クラブ  
今 大介 議員  
(二括方式)

の就労を認め、農繁期の雇用が可能となるよう進めています。市町村別農業算出額推計は、りんごを含む果実が52億5千万円、米が15億5千万円、野菜が8億5千万円、畜産が5億9千万円、その他作物が2億3千万円の79億7千万円であり、当市は、県内40市町村中15位です。農業生産額向上のため、さまざまな農業振興策を講じていきます。

問 津軽ダムが完成したこと、浅瀬石川ダム管理所が統合になるのか。

答 浅瀬石川ダム管理所が監修発行した「広報虹の湖」第50号の中に、「現在、浅瀬石川ダム管理所と津軽ダム工事事務所の間で連携を念頭において情報交換や効率的な管理、地域支援のための体制などについて検討を進めているところです」という記述がありました。これ以上の情報は得ていない状況ですが、浅瀬石川ダムは、洪水調整など本来の



自民・公明クラブ  
工藤 俊広 議員  
(二問一答方式)

機能の他に、当市の観光事業にとっても非常に重要な施設であり、黒石市の宝のひとつと据えていますので、今後も太い連携を保っていききたいと考えています。

問 子育てサポート事業について、事業内容は。

答 おむつやミルクなどの育児用品の購入等の際に利用できる「子育て応援利用券」を交付することで、当市において子供を安心して産み育てることが出来る環境づくりや、子育て支援を目的として実施する事業です。この券は1枚500円の10枚つづりで乳児1人あたり5千円とし、赤ちゃん訪問の際に、直接手渡しで贈りたいと考えています。

問 平成29年度のいじめ防止対策の取り組みは。

答 すべての小・中学校において、いじめ防止対策の担当者任命し、組織的に取り組む体制を整えます。

問 黒石病院の感染症対策について、面会制限の取り組み





地酒を楽しむ外国人観光客

の現状は。

○ 県内公立病院では面会制限が一般的に行われています。患者の生命を守るために必要なことであり、今後も特別な場合を除き、引き続き取り組んでいきます。

○ 障害者の介護について、受け入れの現状は。

○ 指定特定相談支援事業所である山郷館くろいしで支援計画を策定し、市内15カ所ですべて支援を行っています。今後は支援事業所の増加を期待し、支援相談員を配置する意思があるかを各施設に確認したいと思えます。

○ 観光行政について、インバウンド観光の取り組みは。

○ 外国人観光客が増加傾向にある現在、市では多言語パンフレットの作成や外国人向けの動画作成に取り組んでいます。

ます。今後は受け入れ環境整備等の補助制度等情報提供し、官民一体で環境整備を図っています。



高佑会 高橋美紀子 議員 (一問一答方式)

○ 教育行政について、子ども議会をどのような形で行うのか。

○ 中学校3年生の授業の一環として平成29年度に実施します。将来のまちづくりに関心をもたせ、政治参加への意識向上を図ることを目的としており、生徒が住んでいる地域にどのような問題があり、解決にどう取り組んでいるかなどを実際の議会と同じ流れで、生徒が質問するという形を考えています。

○ 日本遺産への認定申請に向けた取り組みは。

○ 当市に適したストーリーの考案と合わせて、申請要件を満たすための資料収集に努めています。

○ 農山漁村振興交付金の活用について、市の対応は。

○ 農家民泊をビジネスとして実施し、成功するため、農

業者や関係機関と可能性について検討します。

○ 当市のPRのために、ロゴマークを作成してはどうか。

○ 策定を予定している市の情報発信に関する計画の中で、必要であれば検討課題になると思われま。

〈その他の質問〉

○ 小・中学生の学力水準と学力向上の取り組みについて。福祉の授業について。外国語の授業について。



日本共産党 工藤 禎子 議員 (一問一答方式)

○ 西十和田特定環境保全公域にどのような問題があり、解決にどう取り組んでいるかなどを実際の議会と同じ流れで、生徒が質問するという形を考えています。

○ 平成29年2月15日に当該事業計画を廃止し、環境保全のために合併処理浄化槽の普及促進に取り組む方針を決定しました。

○ 合併処理浄化槽の補助金額について、県内10市の中で当市が一番低い。国では5人槽で35万2千円の補助なのに

対し、当市は9万3千円である。補助金額を増額する考えは。

○ 原点にかえり、満額のところから計画的に話を進めて慎重に検討していきたいと考えています。

○ 黒石市宮住宅あけぼの町団地建替工事を分割発注にした理由は。

○ 同一敷地内における工事は一括、分割発注にかかわらず安価な同額の諸経費としており、分割発注とした場合、元請事業者が増えることに伴い工期短縮が可能となります。

○ 今後、分割発注を促進して元請を多くすることは事業者も潤う上、早く完成できるのでは。

○ 分割発注については、金額、発注時期、工種などを総合的に検討し、進めてまいります。



黒石市民クラブ 工藤 和子 議員 (一括方式)

○ 平成29年度からの東英中、六郷中、黒石中の活用は。また、32年度からの北陽小の活用について、北地区からの提



黒石中学校開校式の様子

案に対する意見は。

○ 黒石中は統合後の校舎として引き続き使用しますが、使用しなくなる東英中、六郷中の施設については、今後の検討課題となっています。北陽小については、北地区からの提案も含めて市全体で活用方法を探っていきたく考えています。

○ 市庁舎機能分散について、費用と今後のスケジュールは。

○ 機能分散にかかる費用は総額9718万7千円を見込んでいます。平成28年度中に市産業会館へ財政課と監査委員事務局が移転します。29年度は黒石公民館と旧農林総合研究センター別館の改修工事を予定しており、改修工事後は教育委員会が黒石公民館へ、農林部、商工観光部、農業委員会事務局が市産業会館へ、





姉妹都市締結50周年記念事業の様子

宮古市との姉妹都市締結50周年について、どのような事業を行ったか。
記念祝賀会に加え、文化、防災、物産、スポーツ等の交流、次世代継承のための児童、中学生の交流が行われました。また、両市の共同編集による記念誌を平成28年度中に発行します。姉妹都市交流事業補助金を継続し、自主的な交流活動を行う市民団体をこれか



自民・公明クラブ 大溝 雅昭 議員 (二問一答方式)

建設部が旧農林総合研究センター別館へ移転する予定です。分散について市民に周知するため広報やホームページのほか、毎戸にチラシを配布します。

平成29年度予算について、予算要求額、起債残高、実質公債費比率は。
一般会計予算要求額は1



自民・公明クラブ 中田 博文 議員 (二問一答方式)

健康都市宣言について、新たな取り組みは。
積極的に健康づくり等に取組むとする事業所と協定を締結し、市が行う事業を相互に連携・協働するため、くろいし健康優良事業所連携事業を実施します。商工会議所と連携し、健康マイレージ事業への協賛店を増やすなどの取り組みを行っていきます。

ゴミの排出量、リサイクル率は。また、今後の取り組みは。
速報値で平成27年度のゴミの量は1人1日あたり941g、リサイクル率は12.4%となつています。29年度は資源化パワーアップ事業として、年2回雑紙回収キャンペーンを実施する予定です。引き続き押しかけ講座を開催し、啓発と周知を図ります。

黒石公民館の一部再開について、教育委員会の考えは。
黒石公民館については、2階と3階に教育委員会が移転することになりますが、1階の図書室と多目的ホールの再開については、従来どおりの用途を考えています。

開催会場については、3会場を選定し、経費や設備等についてゼロベースから検討し、新成人にとって相応しい式典を第一に掲げ、最小経費で最大の効果を得るべく総合的に検討した結果、津軽伝承工芸館と判断しました。

検討段階で教職員を含めて約1500食、6900万円ほどを見込んでいます。
成人式を市街地にあるスポカルイン黒石で開催する考えはあるか。

66億円でした。29年度末の起債残高は全会計で238億449万8千円となる予定です。実質公債費比率は、29年度決算見込みで20.6%、30年度決算で18%台、31年度決算で17%台になる見込みです。

黒石市議会 一般質問実施要領

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 内容 (Content). Rows include 趣旨 (Purpose), 通告 (Notification), 質問方法 (Question Method), 質問時間 (Question Time), 質問・答弁場所 (Question/Answer Location), 再質問順序 (Re-question Order), and 答弁順序 (Answer Order).

議員が、その属する地方公共団体の行政全般にわたる執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。
一般質問は、定例会に限って許されているため、臨時会においては、一般質問をすることができません。
一般質問をする場合は、原則として通告することが必要です。これは、多数の議員が質問を求めると、その順位や発言時間をどうするか、また、市民の皆さん、市議会の傍聴にぜひお越しくください。

議員が、その属する地方公共団体の行政全般にわたる執行機関に対し事務の執行の状況および将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または疑問を質すことをいいます。
一般質問は、定例会に限って許されているため、臨時会においては、一般質問をすることができません。
質問の内容がわからないと執行機関の方で十分な準備ができず、議員にとっても不満足な答弁しかできないという問題が生じ、充実し、かつ、能率的な議会運営ができないからです。
本市議会では、告示と同時に通告の受け付けを開始し、議会運営委員会開催日の午前10時を受け付けの期限としています。通告は必ず本人が議会事務局へ提出することになっていきます。
質問の順位は、申し込み順により決定。一般質問の運用については、左表のとおりとなっています。

議会 豆知識 一般質問とは





●議員活動報告

自民・公明クラブ  
(北山 一衛・工藤 俊広  
中田 博文・大久保朝泰  
今 大介)

黒石市民クラブ  
(福士 幸雄・工藤 和子  
佐々木 隆)

日本共産党  
(工藤 禎子)

高佑会  
(高橋美紀子)

新政会  
(三上 廣大)

【市営住宅あけぼの町団地内覧会】について

平成29年3月22日、黒石市営住宅あけぼの町団地内覧会が行われ、11人の議員が参加しました。完成した団地は、2LDK(洋室7.5帖、洋室6帖、LDK12帖)6戸と3LDK(洋室6帖2間、洋室6.4帖、LDK11帖)6戸の他、集会所1棟。

初めに集会所を見学した後、建物の概要等の説明があり、続いて2LDK、3LDKの住宅を見学しました。

担当課からは、高齢者や障害者、子供に配慮した段差の少ない建物であり、玄関・トイレに手すりを設け、安全・安心に配慮している他、住宅前を広くし車を駐車するスペースを設けることで、荷卸しや年配者への運転に配慮しているとの説明がありました。

参加した議員からは、建物内部の機能性についての質問や今後の入居者からの要望、意見に対しどのように対応していくのかといった質問が出ました。

今回見学した住宅には現在すでに入居者が生活を始めていました。今後は、平成29年度に62戸、31年度に52戸が解体され、35年度を目標に建設、整備される予定となっています。



新築した市営住宅を視察

民生福祉常任委員会活動報告

平成29年5月2日、民生福祉常任委員会(大久保朝泰委員長)は、黒石あけぼの病院デイケア棟「といろ」と南黒地方福祉事務組合「青葉寮」・「もみじ学園」を視察しました。

まず、午前には視察したデイケア棟「といろ」は、平成27年9月から開設されており、開設にあたり藤田院長は「退院しても社会に居場所がなく自宅に引きこもってしまう。何もすることがなく生活のリズムが乱れてしまうなどが大きな悩みでした。しかし、デイケアに定期的に通所することで精神の安定や向上が期待でき、現代の精神科医療にはなくてはならない」と語っています。また、佐々木精神保健福祉士からは施設概要説明の中で、「定員は50名規模で、現在20数人が通っています。家族だけで悩まず、気軽に相談に来てい



デイケア棟「といろ」を視察

ただきたい」との話がありました。市内や近隣にもっとこのような施設が必要だと感じました。

午後に視察した青葉寮(障害者支援施設)ともみじ学園(障害児入所施設・障害者支援施設)の両施設は、黒石市、平川市、青森市浪岡地区、藤崎町、大鱈町、田舎館村で構成されている南黒地方福祉事務組合施設ですが、平成31年度末を目処に民間移譲することが適当であることを組合議会での方向性として示されており、現場を視察した後、移譲に至る経緯・現状と今後の方向性について、担当者から説明を受けました。当委員会としても、今後も注視していきたいと考えています。



もみじ学園内の施設見学の様子

東京黒石会定例総会に出席

今年で創立47周年を迎える東京黒石会の総会が、5月14日、東京都千代田区のグランドアーク半蔵門で開催されました。当日は、来賓や会員ら約110人の出席があったなか、本市議会からは、北山議長と工藤副議長、会員でもある高橋議員の3人が出席し、会員や各関係団体の方々と、互いの活動や近況報告、さまざまな要望、懐かしい黒石の町や人の話などで交流し親睦を深めました。

役員改選では、3期6年にわたり会長を務めた中村節子さんが監事に、事務局として会長を支えてきた斎藤太一さんが新会長に就任した他、数名の新たな役員が加わりました。



交流を続ける友好団体を含めた総会の様子

高樋市長が挨拶で市の現状報告やこれからの取組、市と東京黒石会のあり方などの話をすると、会場の皆さんが大きくうなずきながら聴き入り、その姿に、黒石への期待と東京から黒石を盛り上げていくぞという力強さを感じ、その中での議会の役割を発揮していく原動力をいただきました。最後に全員で輪になり黒石よさを踊ったり、手をつないで歌ったりして気持ちが一つになり、それぞれ元気に再会することと今年度の互いの事業の成功を願い合いました。



会場で「黒石よされ」の流し踊り



●平成28年度議長交際費 月別支出表

月	支出件名	金額
4月	黒石烏城・尾上・田舎館ライオンズクラブ3クラブ合同40周年記念式典、弘前駐屯地創立記念日行事祝賀会、青森県南黒石地区消防協会観閲式他11件	42,000円
5月	東京黒石会定例総会、黒石観光協会通常総会懇親会、春の叙勲並びに黒石市消防団消防功労受賞祝賀会他8件	40,284円
6月	黒石市自衛隊協力会定時総会、第39回黒石警察友の会通常総会、浅瀬石地区合同運動会、黒石市長との懇談会他1件	14,000円
7月	黒石市・宮古市姉妹都市締結50周年記念祝賀会、第5回まちづくり法人国土交通大臣賞特別賞祝賀会、温湯温泉「丑湯祭り」他6件	31,500円
8月	国際姉妹都市大韓民国永川市からの高校生ホームステイ歓迎会、大川原火流し、浅瀬石灯籠流し他4件	59,017円
9月	青森県民駅伝競走大会黒石市選手団記録報告会、東英中学校閉校記念事業思い出を語る会、実年を祝う会懇親会他4件	22,430円
10月	黒石烏城ソフトテニスクラブ創立100周年記念祝賀会、黒石地酒まつり開会セレモニー、黒石米活用検討実験事業試食会他1件	15,000円
11月	平成28年度黒石市表彰式及び祝賀会、黒石市体育協会創立70周年記念式典祝賀会、東雲幼稚園創立60周年記念式典祝賀会他3件	28,000円
12月	平成28年度叙勲・褒章県褒賞受章祝賀会、黒石市誘致・進出企業懇談会、黒石記者クラブ「筆供養」他3件	26,240円
1月	新年祝賀名刺交換会（青年会議所東北地区青森ブロック）、黒石青年会議所新年名刺交歓会、黒石市保育連合会新年祝賀会祝儀他9件	46,000円
2月	平成28年青森県体育功労者受賞祝賀会、黒石市子ども美術展議長賞副賞、黒石まちそだて・ひとそだてシンポジウム懇親会他2件	25,000円
3月	黒石記者クラブ歓送迎会会費、浅瀬石地区老人クラブ連合会定時総会、浅瀬石地区史跡保存会総会、浅瀬石小学校教職員歓送迎会	10,000円
合 計		359,471円

議長交際費  
支出状況をお知らせします

議長交際費は、正副議長が市議会を代表して、対外的な活動をするために必要な経費です。今号では、平成28年度の議長交際費の主な支出状況をお知らせします。



委員一同

議会だよりは、議会の広報紙として定例会ごとに年4回発行し、各世帯に配布しております。定例会の概要、一般質問での質問、答弁の要旨、議案に対する賛否一覽等を掲載しております。

工藤俊広委員長を中心に6人の委員が試行錯誤を重ねながら市民の皆様へ愛される紙面づくりを目指して頑張ってきました。

今後ともより一層のご愛読をよろしく願っています。

議会だより  
編集特別委員会の  
任期2年を  
振り返って

編集後記

早いもので各種委員会の任期2年が経過し、次の6月定例会で常任委員会や特別委員会等が改選となります。議会だより編集特別委員会も本紙発行後に改選となります。

委員の皆さんも節目の編集作業とあって一段と力が入りました。委員長として編集にあたり、特に心を砕いてきた事は、市民の皆さんと議会が紙面を通じてより身近な存在になれればという事でした。

今後も市民の皆さんの目線に立った議会だよりの発行に努めていくべきと思います。

皆様に愛読されることを願って任期最後の寄稿とさせていただきます。

工藤 俊広

議会だより  
編集特別委員会

- 委員長 工藤 俊広  
委員 大久保 朝泰  
委員 高橋 美和子  
委員 今 紀子  
委員 三上 廣大

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-10396  
黒石市大字市ノ町11番地1号  
電話 0172-5212129  
FAX 0172-5317410

